

## 【 6 款 農林水産業費 】

### 1 農業費

農家の経営安定と農村の活性化を目標に、農林業の担い手確保、後継者の育成、経営規模拡大、農業生産基盤の整備等を図りつつ、農業所得の向上のため生産性の高い施設野菜や露地野菜の推進、畜産業振興と集落営農組織の推進及び経営の合理化などを積極的に推進した。

#### (1) 農業委員会

農業・農村を取り巻く情勢は、輸入産物の増大による国際化の進展、担い手・後継者不足と高齢化、農地の荒廃・遊休化など多くの課題を山積みしている。農業委員会としては、新しい「食料・農業・農村基本計画」において、農地の有効利用を促進するため、農地の利用状況調査を実施し、農業経営基盤強化促進法に基づき、認定農業者や担い手への農地の利用集積をはじめ、耕作放棄地の発生防止・解消のための指導強化等、積極的な土地利用の推進と農業後継者結婚対策に取り組んだ。

#### (2) 農業の振興対策

農業・農村の活性化を図るため、園芸及び肉用牛の振興を中心として、規模拡大に対する支援、営農基盤の整備や農地の有効利用、認定農業者を対象とした農援隊の設置など、各種事業を積極的に推進した。

園芸振興対策として、種苗費の補助など振興品目の作付面積の拡大を支援するとともに、施設整備に対する補助を行い、園芸農家の規模拡大を推進した。

農産物を加工処理し、商品化することで、収益の向上を図るなど、6次産業化に取り組もうとしている農業者等が抱える課題を解決するため、農産物の加工新商品の開発支援を行った。

農業者戸別所得補償制度において、平戸市地域農業再生協議会を中心として、食料自給率向上や水田農業経営の改善を目的に、米の計画的生産と飼料作物や振興品目の増産を推進した。

#### (3) 農業生産基盤の整備

園芸作物の産地力を高めるため、アスパラガスの生産ハウスの整備や昇温抑制資材の導入など機能向上に対する支援を行い、規模拡大と品質向上に取り組んだ。

優良農地の確保と意欲ある農家の規模拡大を支援するため、国県の補助事業を活用し、耕作放棄地の解消を図った。

中山間地域等直接支払交付金制度及び農地・水保全管理支払交付金制度では、活発な集落の共同活動に対する支援を行い、農地・道路・水路などの保全是もとより、水源のかん養機能や良好な景観の形成機能が増進され、あわせて耕作放棄地の防止を図ることができた。

農業生産の近代化及び農業生産力の増強と経営基盤の強化整備拡充を図るため、未舗装農道や老朽化した用排水路、頭首工、ため池などの整備に対して、市単独農業農村整備事業による補助を行い、農業環境の整備に努めた。

#### (4) 農業施設の防災対策

農地や農業用施設に対する災害を未然に防止し、農業生産の維持と農業経営の安定を図るとともに、国土保全や農村の安全性を確保するため、県営及び団体営事業により、計画的にため池や用排水路等の整備を行った。

#### (5) 畜産業の振興対策及び生産基盤の整備

本市の基幹作目である肉用牛の振興においては、市全体の飼養戸数及び飼養頭数は減少しているものの1戸あたりの飼養頭数は微増傾向にある。

このような現状を踏まえ、産地確立の中核となる繁殖農家の経営を支援するため、優良繁殖雌牛の導入、牛舎等の整備及び放牧地整備による低コスト化の支援を行った。

平成24年度に開催された全国和牛能力共進会長崎県大会においては、出品者、和牛部会、農協等、地域が一体となった取り組みを進め、本市から県代表牛として出品された6頭全てが優等賞を受賞するとともに、本市で生産された子牛が内閣総理大臣賞を受賞するなど、優秀な成績を収めることができた。

#### (6) 担い手育成・確保対策

平戸市担い手育成総合支援協議会を中心として、認定農業者の確保や育成などを図るため、各種研修会の開催や県が主催する研修会等への参加など、関係機関と連携を図りながら積極的な取り組みを行った。

また、平戸市役所農林課内に、平戸市農業総合支援センター「平戸市もうかる農業支援隊」を設置し、就農希望者や規模拡大に取り組む農業者等に対して、県や農協など関係機関と連携したワンストップサービス体制を整備した。

新規就農者の確保対策として、各地域における新規就農者を中心とした人・農地プランを策定し、当該地域における担い手育成や農地集積などの支援を行った。

#### (7) 有害鳥獣対策・強化

農作物等をイノシシ等から守る「防護対策」と、イノシシ等の被害を減らすための「捕獲対策」及びイノシシ等が嫌がる環境をつくる「棲み分け対策」の3つの観点に基づき、地元猟友会と連携しながら事業を展開した。特に、防護対策として、昨年度に引き続き、国庫補助事業を活用し、防護柵（ワイヤーメッシュ柵・電気柵）の整備を行った。

### 2 林業費

#### (1) 林業振興及び基盤の整備

植栽から保育事業まで一貫した造林事業を実施したことにより、優良材の生産及び健全な森林の育成が図られたと同時に、森林の持つ公益的及び多面的な機能が発揮され、CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）の吸収による低炭素社会の実現、水源かん養機能や国土保全等、美しい自然環境の保全に貢献することができた。

更に、健全な森林を育成するため、市有林においては、国庫補助事業を活用し、下刈り等の適切な整備を実施した。また、松くい虫被害防止のため、「予防」と「駆除」の両面を適期に実施し、健全な松林の保全に努めた。

森林所有者の林業経営に対する意欲向上及び森林施業の推進のため、森林整備地域活動支援交付金事業や市単独森林作業路開設事業による補助を行った。

昨年度に引き続き、特用林産物の振興と雇用の確保を図るため、平戸市森林組合が整備する菌床しいたけ生産ハウス等に対し、補助を行った。

### 3 水産業費

魚価の低迷や漁場環境の変化、担い手の減少と高齢化、燃油や漁業資材の高騰などにより厳しさを増す水産業界だが、「漁場環境及び生産管理（資源管理）の強化」による漁業生産の効率化と安定化を目指し、「流通・販売体制の改善と水産加工業の育成（高付加価値化）による収益力の強化」「漁協経営の基盤強化」「都市住民との交流と地域連携による開かれた漁村の創造」によって、経営の安定化を図り先進的な水産業の中核地域づくりの推進を行っている。

また、漁業の担い手をはじめとする漁村の住民にとって安全で快適な生活環境や効率的な生産環境づくりを図るため、生産拠点漁港の充実、防災及び老朽化対策、漁業集落の環境整備に向けた取り組みを行った。

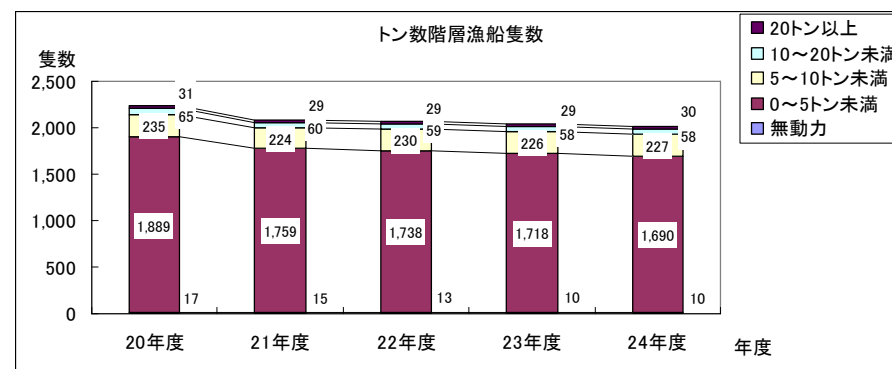
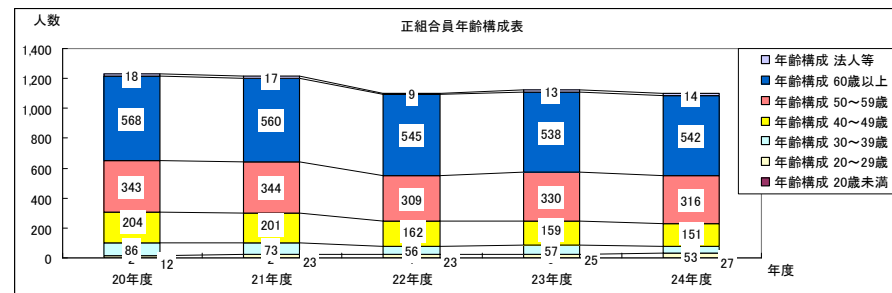
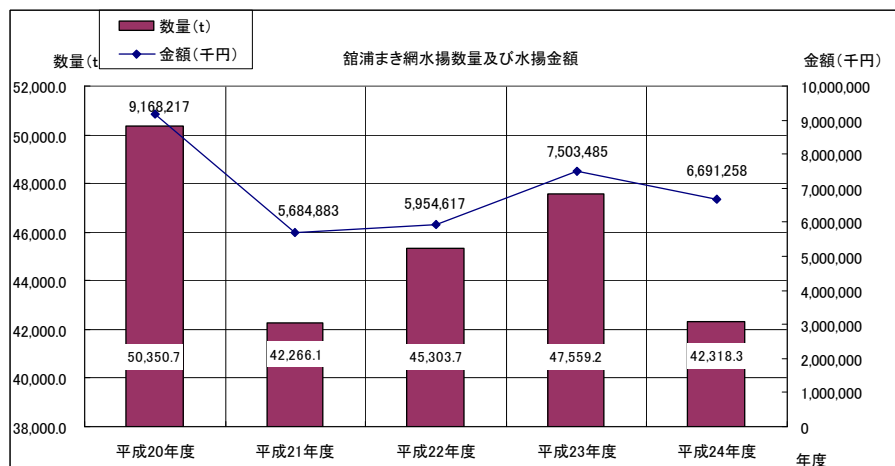
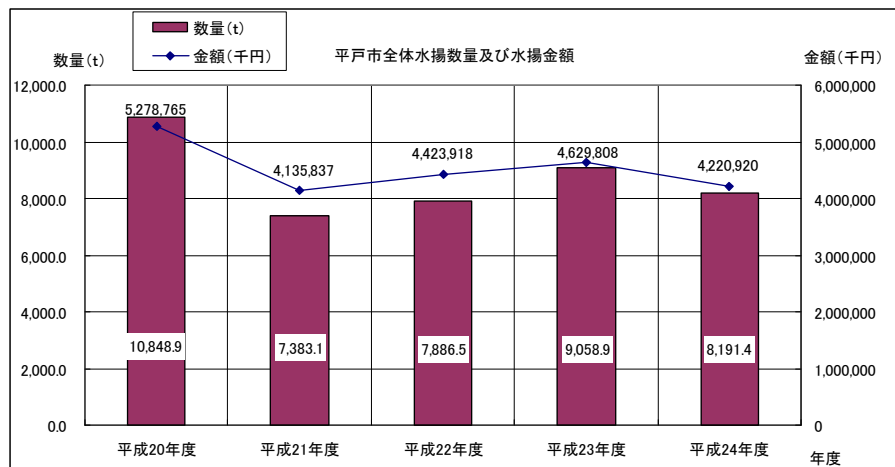
## 【 6款 農林水産業費 】

### (1) 水産業振興対策

水産資源の再生産にとって極めて重要な位置を占める藻場の回復を図るため「環境・生態系保全活動支援交付金事業」を実施すると同時に、藻場礁や人工魚礁漁場を整備し、生産基盤の維持安定を推進するとともに、離島地区における漁業生産力の向上を図るため、「離島漁業再生支援交付金事業」を実施し、地域の実情に応じた沿岸漁業の振興を図った。

また、「放流用アワビの中間育成試験」に取り組むなど、資源管理型漁業の積極的な推進により、水産資源の維持・安定を図っている。

さらに、地域資源を活かした水産加工の普及及び販売促進に取り組み、収益安定を図るとともに漁業後継者の育成に努めている。



### (2) 漁港整備

水産活動の拠点として重要な役割を果たしている漁港については、これまで長期計画に基づき整備を行った結果、一定の機能は整ってきたと認識している。しかしながら、荒天時の波浪により漁船の安全な出入港や係留が確保できていない箇所については、計画的に機能強化を行っている。併せて、既存施設の長寿命化を図るため、「水産物供給基盤機能保全事業」に取り組み、工事を行うための前提となる調査と併せて機能保全工事を実施し、漁港施設の改修を行っている。

事業名	事業内容	事業費
農地制度実施円滑化事業 (農業委員会) 【事項別明細所 194 頁】	農地の利用関係調整(権利移動の許可取得等による農地の斡旋等)や農地の利用状況調査、農地基本台帳の整備等を行った。	6,485
中山間地域等直接支払交付金事業 (農林課) 【事項別明細書 198 頁】	中山間地域における耕作放棄地の防止と多面的機能を確保する観点から、活動を行う協定締結集落等へ交付金を交付した。 推進事務費等 1,418 千円 交付金 187,872 千円 協定締結数 103 協定(集落 102 個人 1) 交付面積 1,021.63ha 負担割合 国:50%、県:25%、市:25%	189,290
耕作放棄地解消総合対策事業 (農林課) 【事項別明細書 198 頁】	平戸市担い手育成総合支援協議会が実施する耕作放棄地解消総合対策事業に対し、補助を行った。 事業内容 区画整理、農道・水路の改修、暗渠排水路等の整備 事業量 97a 4か所(平戸2、田平1、大島1) 事業費 9,324 千円(補助対象事業費) 負担割合 国(※):50%、県:30%、市:15%、受益者:5% ※国費は、直接交付。	4,196
農援隊設置事業 (農林課) 【事項別明細書 198 頁】	<緊急雇用創出事業臨時特例基金事業> 労働力不足のため規模拡大や新規品目導入に踏み切れない認定農業者に対して、農援隊を派遣し、労力の支援を行った。 委託先 ながさき西海農業協同組合 事業量 農援隊(14名)の派遣 事業費 26,995 千円	26,995
構造改善加速化支援事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	【就農定着促進支援】 事業内容 松浦田平アスパラガス生産組合(2名※)が導入する施設(アスパラガスハウス)への補助を行った。 ※うち田平地区1名 事業量 アスパラガスハウス 4棟 2,436 m <sup>2</sup> 事業費 16,643 千円(補助対象事業費) 負担割合 県50%、市16%、受益者34% 【経営革新支援】 事業内容 先導的な農業者(2名)が導入する農業散布用機械への補助を行った。 事業量 スピードスプレーヤ1台(かんきつ類) ブームスプレーヤ1台(露地野菜) 事業費 5,652 千円(補助対象事業費) 負担割合 県:33.3%、市:18.7%、受益者:48%	12,785

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
6,415		19	51	農地の利用状況調査の実施により、農地基本台帳の整備が図られ、農地利用集積等の基礎資料として活用が可能になった。
142,307		9	46,974	集落の活発な営農活動が生まれ、農地・道路・水路などの保全是もとより、水源のかん養機能や良好な景観の形成機能が増進され、また耕作放棄地の防止ができた。 協定締結数 23年度 102 協定(集落 101、個人 1) 24年度 103 協定(集落 102、個人 1) 交付面積 23年度 1,006.25ha 24年度 1,021.63ha
2,796			1,400	当該箇所における農地の区画整理、農道・水路の改修、暗渠排水路等が整備され、97aの耕作放棄地を解消することができた。 また、解消後の農地においては、地域振興品目を中心に作付けを行い、園芸産地の拡大に向け推進がなされた。
26,995				認定農業者の労働力不足が一定解消し、農業環境の改善と規模拡大につながった。また、14名の雇用創出ができた。 新規雇用失業者数 14名
10,204			2,581	アスパラガスハウスの導入補助を行ったことで、新規就農者1名(田平地区)の就農定着促進と経営面での支援ができ、将来的な後継者育成と産地拡大につながった。 また、先導的な農業者(2名)に対し、農業散布用機械導入の補助を行ったことで、農作業の効率・迅速化及び品質の向上につながった。

事業名	事業内容	事業費
ながさき農山村活性化支援事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	津吉地域活性化協議会(各種 15 団体の代表者など 19 名で構成)が実施する地域活性化活動に対する補助を行った。 事業内容 活性化計画の策定(各種会議の開催等)、環境保全活動(耕作放棄地の情報把握)、産業振興活動(新規就農者の営農定着支援、先進地視察、加工新商品開発の試作準備など) 事業費 500 千円(補助対象事業費) 負担割合 県:100%	500
輝くながさき園芸産地振興計画推進事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	ながさき西海農協平戸地区アスパラガス部会等が導入する昇温抑制資材(遮光ネット)等に対し、補助を行った。 事業内容及び事業費等 ①アスパラガス昇温抑制資材(遮光ネット) A=259.6a 補助対象事業費 2,906 千円 受益戸数 27 戸 ②アスパラガス黄色蛍光灯 30 台 A=268.1a 補助対象事業費 3,360 千円 受益戸数 18 戸 ③アスパラガス新改植 A=66.6a 補助対象事業費 1,890 千円 受益戸数 9 戸 ④アスパラガスUVカットフィルム A=138.7a 補助対象事業費 1,890 千円 受益戸数 12 戸 ⑤いちご炭酸ガス発生装置 A=33.0a 補助対象事業費 1,806 千円 受益戸数 12 戸 ⑥菊UVカットフィルム A=58.121a 補助対象事業費 1,097 千円 受益戸数 4 戸 ※事業量は全体数量、補助対象事業費は全体事業費、受益戸数は全体戸数。 負担割合 県:33.3%(50%)、市:県補助残の 28%	4,883
園芸産地育成対策事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	園芸品目の栽培に取り組んでいる中核的農業者や、新たに園芸品目の栽培に取り組む新規栽培者の産地拡大及び販売体制の強化等の取り組みに対する支援を行った。 新規栽培者支援 500 千円(1 件) 園芸産地育成支援 2,306 千円(6 件) 園芸用施設流動化・改造支援 444 千円(1 件) 気象変動対策支援 497 千円(1 件) その他園芸産地振興支援 1,160 千円(7 件) 合計 4,907 千円(16 件)	4,907
農業者戸別所得補償制度推進事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	農業者戸別所得補償制度の普及・推進活動経費として、平戸市地域農業再生協議会へ補助を行った。 事業内容 加入申請書等の配布及び回収並びに制度への申請手続支援、対象作物の作付状況の確認、平成 25 年度実施に向けた説明会等の開催及び指導・助言など。 事業費 7,310 千円 負担割合 国 100%(定額)	7,310

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
500				多くの活性化団体の代表者が一同に会し、意見交換や活性化計画を策定する中で、環境保全活動(耕作放棄地の情報把握)、産業振興活動(新規就農者の営農定着支援、先進地視察、加工新商品開発の試作準備など)が推進され、津吉地域の活性化に寄与することができた。
3,205			1,678	アスパラガス昇温抑制資材を導入したことにより、夏場の高温による葉焼けや株の消耗等を抑制し、アスパラガスの収量確保が可能となった。 アスパラガス黄色蛍光灯を導入したことにより、夜蛾類の被害を軽減し、薬剤散布回数の削減と良品アスパラガスの生産が可能となった。 アスパラガスの新改植を行ったことにより、老株や病害により枯死した欠株のある圃場で株の若返りが図られ、アスパラガスの収量向上が可能となった。 アスパラガスUVカットフィルム等を導入したことにより、スリップス類の効果的な防除体制が確立し、薬剤散布回数の削減と良品のアスパラガス等の生産が可能となった。 いちご炭酸ガス発生装置を導入したことにより、日照不足や低温時の光合成不足を改善し、厳寒期の生育維持によるいちごの収量向上が可能となった。
			4,907	多くの中核的農家が経営の柱とする園芸品目の生産基盤の強化、生産性の向上、後継者の育成・確保が図られた。 また、新規栽培者への支援を行ったことにより、多様な担い手が育成され、地域農業の活性化が期待できる。
7,310				食料自給率の向上、水田農業経営の改善ができた。また、地域農業再生協議会を活用し、行政と農業者団体等が連携した取組みを推進したことにより、地域の実情に即した農業振興につながった。

事業名	事業内容	事業費
農業振興地域整備計画更新事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 事業内容 農地法の改正等に伴い、農業振興地域整備計画の平成25年度中の変更に向け、業務を委託し、事前調査などを実施した。 事業量 平戸市農業振興地域整備計画更新業務一式 事業費 21,553 千円	21,553
農地・水保全管理支払交付金事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	本市と協定を締結した活動組織が、地域で共同して行う農地、水路等の日常の管理や農村環境の向上に資する活動を支援した。 事業費内訳 交付金 6,909 千円、推進事務費 480 千円 【共同活動】 事業費 交付金 3,151 千円 (市負担分) 交付団体 12 団体 (平戸 8、生月 1、田平 3) 交付面積 田 358.15ha、畑 34.34ha、草地 21.77ha 計 414.26ha 負担割合 国：50%、県：25%、市：25% 【向上活動】 事業費 交付金 3,758 千円 (県・市負担分) 交付団体 7 団体 (平戸 7) 交付面積 田 203.68ha、畑 10.01ha 計 213.69ha 負担割合 国：50%、県：25%、市：25%	7,389
有害鳥獣被害防止対策事業 (農林課) 【事項別明細書 200 頁】	有害鳥獣 (イノシシ等) による被害防止のため、有害鳥獣駆除員に対する捕獲報償金及び平戸・田平猟友会への駆除業務委託並びに捕獲罠の整備を行った。 捕獲報償金 (4,981頭) 24,905千円 捕獲罠 (箱罠145基) 7,917千円 駆除業務委託 (平戸・田平猟友会) 6,000千円 事務費等 1,092 千円	39,914
鳥獣被害防止総合対策事業 (農林課) 【事項別明細書 202 頁】	有害鳥獣 (イノシシ等) による農作物の被害防止のため、ワイヤーメッシュ柵及び電気柵の整備に対して補助を行った。 また、鳥獣被害対策実施隊を結成し、捕獲・防護柵の設置といった実践的活動を展開した。 防護柵整備 (ワイヤーメッシュ柵) 108,100千円 防護柵整備 (電気柵) 13,705千円 鳥獣被害対策実施隊報酬 660千円 県北地域有害鳥獣被害防止対策協議会負担金 45 千円	122,510

財源内訳				事業の成果												
国県支出金	地方債	その他	一般財源													
21,553				現状に即した平戸市農業振興地域整備計画の更新を行うための基礎・根拠資料が作成された。また、13 人の雇用創出ができた。 新規雇用失業者数 13 名												
2,359		2	5,028	農用地・農道等の草刈、水路の土砂上げ活動が円滑に実施され、また、農業施設の維持管理とあわせ機能向上活動が行われたことにより、地域環境の保全向上及び農業施設の長寿命化につながった。 また、地域住民が参加し活動することによって、さらなる集落環境の向上と住民間の交流が生まれ、農業の持続的な発展に寄与した。												
15,618			24,296	地元猟友会等による有害鳥獣 (イノシシ等) の捕獲体制の強化が図られ、農作物の被害を抑えることができた。 ○捕獲頭数 (イノシシ) (単位：頭) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>捕獲頭数</td> <td>4,799</td> <td>4,086</td> <td>4,981</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>207%</td> <td>85%</td> <td>122%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H22	H23	H24	捕獲頭数	4,799	4,086	4,981	前年度比	207%	85%	122%
年度	H22	H23	H24													
捕獲頭数	4,799	4,086	4,981													
前年度比	207%	85%	122%													
121,805			705	有害鳥獣 (イノシシ等) の農地侵入を防止し、農作物の被害を抑えることができた。 ○防護柵整備状況 (単位：m) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WM柵</td> <td>46,080</td> <td>148,880</td> <td>202,220</td> </tr> <tr> <td>電気柵</td> <td>19,140</td> <td>48,241</td> <td>69,580</td> </tr> </tbody> </table> ※WM柵＝ワイヤーメッシュ柵	年度	H22	H23	H24	WM柵	46,080	148,880	202,220	電気柵	19,140	48,241	69,580
年度	H22	H23	H24													
WM柵	46,080	148,880	202,220													
電気柵	19,140	48,241	69,580													

事業名	事業内容	事業費
新規就農者実践農場推進事業 (農林課) 【事業別明細書 202 頁】	県北各地域の優良農業者をインストラクターとして認定し、地域の振興品目であるいちご・アスパラガス・繁殖牛などによる農業経営を目指す新規就農希望者を対象に、1 年目(前期)の実地研修と2 年目(後期)の就農以降のフォローアップを実施する事業であり、平成 24 年度においては、2 年目の研修者に対し補助を行った。  補助金 1,800 千円(3 人×50 千円×12 月) 研修品目 いちご、アスパラガス	1,800
豊かな農山村づくり事業 (農林課) 【事業別明細書 202 頁】	水と土に恵まれた豊かな農山村地域活性化に向けた取り組みを実施する団体等に対し補助を行った。  担い手対策支援事業 農業大学校就学者 6 名への補助 720 千円 高付加価値型農林業の振興対策事業 活性化団体への冷凍平型ショーケース導入補助 500 千円	1,220
担い手コーディネーター設置事業 (農林課) 【事業別明細書 202 頁】	〈緊急雇用創出事業臨時特例基金事業〉 平戸市担い手育成総合支援協議会が、担い手コーディネーターを雇用して、「担い手農家の巡回による農家の各種意向掘り起こし活動」、「多様な担い手育成のための意向調査」及び「有害鳥獣被害防止にかかる事業啓蒙、指導」などを行った。  委託先 平戸市担い手育成総合支援協議会 事業量 担い手コーディネーター 2 名雇用 (延べ人数)	1,940
新規就農総合支援事業 (農林課) 【事業別明細書 202 頁】	持続可能な力強い農業を実現するには、これまでの新規学卒者対策に加え、U・I ターン者等の就農促進を強化する必要がある、その際、技術の習得や所得の確保等が課題となっていることから、就農意欲の喚起と就農後の定着を支援するため、給付金を交付した。  事業量 青年新規就農者 4 名に対する給付 事業費 3,000 千円 (1,500 千円×6/12 月×4 名)	3,000

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
900			900	研修者が、インストラクターや J A 生産組織より営農に対する基礎的な技術の習得をすることができ、意欲ある新規就農者の確保・育成に寄与することができた。
			1,220	農業大学校の学生に対し、研修費を補助したことにより、農業に対する意欲の向上と担い手の確保ができた。 また、冷凍平型ショーケース導入への補助を行ったことにより、活性化団体(農業者)の負担軽減が図られ、同時に産地の規模拡大と地域農業の活性化につながった。
1,940				平戸市担い手育成総合支援協議会において、担い手コーディネーターを雇用したことにより、認定農業者などとの連絡及び調整が円滑になされ、幅広く活動支援をすることができた。 また、緊急雇用により雇用の創出につながった。  新規雇用失業者数 2 名
3,000				新規就農者の課題の一つである所得の確保等が一定解消され、就農意欲の喚起と就農後の定着を支援することができた。 また、受給者 4 名については、園芸作物と肉用牛の振興に積極的に取り組んでおり、各地域の活性化につながる担い手及び地域リーダーとして期待できる。

事業名	事業内容	事業費
農産物加工新商品 開発支援事業 (農林課) 【事項別明細書 204 頁】	農産物を加工処理し、商品化することで、収益の向上を図るなど、6次産業化に取り組もうとしている農業者等が抱える課題を解決するため、農産物の加工新商品の開発支援を行った。  事業量 研修会の開催(5回) ①食と農のビジネス経営の基本について ②加工品開発にかかる事例研修について ③加工品開発にかかる基礎研修について ④加工品開発に向けた素材研究について ⑤おいしくて安全で安心な商品開発の手法について 委託先 株式会社 キースタッフ 事業期間 平成24～25年度	1,032
家畜導入事業 (農林課) 【事項別明細書 204 頁】	長崎県家畜導入事業を活用して、ながさき西海農業協同組合が実施する繁殖雌牛の貸付に対して1頭当たり138千円の補助を行った。  ひらどモー！モー！増頭支援事業補助金 県：92千円×70頭＝6,440千円 市：46千円×70頭＝3,220千円	9,660
和牛オリンピック 対策奨励事業 (農林課) 【事項別明細書 206 頁】	平成24年度に開催された第10回全国和牛能力共進会長崎県大会の出品牛対策及び大会開催に対し支援などを行った。 ・代表牛賞賜金 2,510千円 〈市代表牛 53頭 530千円〉 〈県北地区選考牛 34頭 1,020千円〉 〈県北地区代表牛 18頭 900千円〉 〈県代表牛 6頭 60千円〉 ・大会会場へのバス借上料 589千円 ・全国和牛能力共進会長崎県大会負担金 6,064千円 ・県北地域和牛改良推進協議会負担金 1,060千円 ・和牛オリンピック対策奨励事業補助金 200千円 ・事務経費 863千円	11,286
21世紀平戸牛産地 強化対策事業 (農林課) 【事項別明細書 206 頁】	肉用牛経営の規模拡大に意欲を持つ畜産農家に対し、国県補助事業の採択要件に合わない施設整備の補助を行った。  低コスト牛舎及び堆肥舎モデル事業補助金 別飼施設 2棟 284.0㎡ 1,000千円 堆肥舎 3棟 60.2㎡ 661千円	1,661

財源内訳				事業の成果																
国県支出金	地方債	その他	一般財源																	
			1,032	6次産業化に取り組もうとしている農業者等が抱える問題点・課題(市内農産物の有効活用、新規事業の創出、ブランド化、販売促進及び地域活性化など)が一定解決し、付加価値の高い農産物の加工品による新商品の開発が可能となり、農業所得の向上が期待できる。																
6,440			3,220	ながさき西海農協を通じて優良繁殖雌牛の導入支援を行ったことで、高齢化による飼養戸数及び飼養頭数の減少はあるものの中核畜産農家の規模拡大につながった。  (戸、頭) <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H22</th> <th>H23</th> <th>H24</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>飼養戸数</td> <td>518</td> <td>489</td> <td>455</td> </tr> <tr> <td>飼養頭数</td> <td>3,280</td> <td>3,202</td> <td>3,125</td> </tr> <tr> <td>1戸あたり</td> <td>6.3</td> <td>6.5</td> <td>6.9</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H22	H23	H24	飼養戸数	518	489	455	飼養頭数	3,280	3,202	3,125	1戸あたり	6.3	6.5	6.9
年度	H22	H23	H24																	
飼養戸数	518	489	455																	
飼養頭数	3,280	3,202	3,125																	
1戸あたり	6.3	6.5	6.9																	
			11,286	全国和牛能力共進会長崎県大会に向け、出品者、和牛部会、農協等、地域が一体となった取り組みを進めることができた。本市から県代表牛として出品された6頭全てが優等賞を受賞するとともに、本市で生産された子牛が内閣総理大臣賞を受賞するなど、優秀な成績を収めることができ、産地力が向上した。																
			1,661	低コストの牛舎・堆肥舎の整備による経営規模の拡大及び低コスト経営が図られた。 また、堆肥舎の整備により、家畜ふん尿の適正管理につながった。																

事業名	事業内容	事業費
肉用牛経営活力アップ事業 (農林課) 【事項別明細書 206 頁】	繁殖牛の多頭飼育経営に取り組む組織に対して、繁殖牛舎及び堆肥設備などの整備に支援を行った。  事業量 牛舎 1 棟 135 m <sup>2</sup> 、堆肥舎 1 棟 42 m <sup>2</sup> など 事業主体 平戸地域肉用牛生産組合(平戸市生月町) 受益戸数 2 戸 負担割合 県：50%、市：16%、受益者：34%	4,889
農村災害対策整備事業県工事負担金 (農林課) 【事項別明細書 208 頁】	県が実施する老朽化した農業用ため池等の改修のための調査・計画書作成、測量・設計及び対策工事にかかる県工事負担金  生月地区(ため池：測量・設計及び対策工事) 負担金 89,984,180 円×16%≒14,397 千円 負担割合 国：55%、県：29%、市：14%、受益者：2% 大島地区(ため池：調査・計画書作成) 負担金 1,890,000 円×25%≒ 473 千円 負担割合 国：50%、県：25%、市：25%	14,870
海岸堤防等老朽化対策事業県工事負担金 (農林課) 【事項別明細書 208 頁】	県が実施する老朽化した海岸保全施設の改修のための対策工事にかかる県工事負担金  神上地区(消波工) 負担金 15,991,500 円×7%≒1,119 千円 負担割合 国：50%、県：43%、市：7%	1,119
農村災害対策整備事業 (農林課) 【事項別明細書 208 頁】	老朽化した農業用施設(用水路・排水路など)の改修のための測量・設計及び対策工事を実施した。  生月第2地区(用水路・排水路など：測量・設計及び対策工事) 事業費 測量・設計費 24,819 千円 工事請負費 2,182 千円 計 27,001 千円 負担割合 国：55%、県：15・10%、市：35・31・30・26%、受益者：4%	27,001

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
1,831				耕作放棄地等の有効利用により放牧利用面積を拡大し、共同放牧による労働時間や生産コストの削減、また牛舎の空スペースを活用した増頭が可能となり、肉用牛経営の安定につながった。
3,704			1,185	近代的かつ低コストの繁殖牛施設(12 頭規模)が整備され、経営規模の拡大及び集団化による生産コストの低減などで、経営の安定と肉用牛の生産振興が可能となった。
	12,000	1,800	1,070	当該ため池は、堤体及び余水吐などの老朽化に伴い、漏水が発生するなど支障を来している状況である。事業完成後は、堤体崩壊に伴う土砂及び水害の防止と農業用水の安定供給が図られる。 〔事業予定期間 平成21～32年度〕
			1,119	当該海岸保全施設は、経年劣化や波力等の影響により損傷や機能低下が著しい状況である。事業完成後は、消波機能が十分に発揮され、背後農地や家屋への被害防止が図られる。 〔事業予定期間 平成23～25年度〕
18,277	8,100	157	467	当該農業用施設は、老朽化等に伴い、施設本来の機能を発揮できておらず、降雨時に近隣農地等へ雨水が氾濫している状況である。事業完成後は、当該地域で発生する災害から、市民の生命・財産及び生活を守ることができるとともに、農業用施設等の機能の充実により、安定した営農が図られる。 〔事業予定期間 平成 21～27 年度〕



事業名	事業内容	事業費
自然災害防止事業 県工事負担金 (農林課) 【事項別明細書 208 頁】	県が実施する老朽化した農業用ため池の改修のための対策工事にかかる県工事負担金  生月地区 (ため池：対策工事) 負担金 5,985,000 円×25%≒1,496 千円 負担割合 県：75%、市：12.5%、受益者：12.5%	1,496
地域ため池総合整備事業県工事負担金 (農林課) 【事項別明細書 208 頁】	県が実施する老朽化した農業用ため池の改修のための対策工事及び排水路整備のための測量設計にかかる県工事負担金  大島地区 (ため池・排水路：測量・設計及び対策工事) 負担金 24,533,800 円×9%≒2,208 千円 負担割合 国：60%、県：31%、市：8%、受益者：1%	2,208
農業農村整備事業 (農林課) 【事項別明細書 210 頁】	市単独農道整備事業 4,718 千円 老朽化等により支障を来している農道の補修を行うため、農業者団体が実施する路面舗装等の施設整備に対して補助を行った。  農道舗装 23 路線、L=1,997m 平戸地区 2,719 千円 15 路線 生月地区 424 千円 5 路線 田平地区 806 千円 2 路線 大島地区 769 千円 1 路線	4,718
	市単独小規模かんがい恒久対策事業 5,198 千円 老朽化等により支障を来している農業施設 (農道は除く。)の補修を行うため、農業者団体が実施する農業用かんがい施設や未整備地域の施設整備に対して補助を行った。  水路 14 か所、ため池 5 か所 平戸地区 2,675 千円 13 か所 生月地区 1,000 千円 1 か所 田平地区 794 千円 3 か所 大島地区 729 千円 2 か所	5,198
林道環境整備事業 (農林課) 【事項別明細書 216 頁】	<緊急雇用創出事業臨時特例基金事業> 市が管理する林道のうち車両通行の妨げとなっていた沿線の草木等について、機械使用による除草、陰切り作業及び側溝の土砂除去などを行った。  委託先 平戸市森林組合 事業量 林道田代線 L=4,047m、林道安満線 L=2,027m 事業費 1,916 千円	1,916

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		748	748	当該ため池は、堤体の老朽化に伴い、崩壊の危険性があったが、堤体崩壊に伴う土砂及び水害の防止と農業用水の安定供給ができるようになった。
	2,000	74	134	当該ため池は、堤体及び余水吐などの老朽化に伴い、漏水が発生するなど支障を来している状況である。事業完成後は、堤体崩壊に伴う土砂及び水害の防止と農業用水の安定供給が図られる。 〔事業予定期間 平成 21～27 年度〕
			4,718	農道への落石や路面の損傷など、農道の維持管理に相当の経費と労力を要していたが、本事業で整備されたことにより、農産物や機械搬入の省力化、荷傷みの防止、更には雨天時の通行が容易になるなど農業環境の整備と車両通行の安全性が確保された。
			5,198	近年、特にイノシシによる水路の被害が多く発生し、水路の管理に多大な影響が出ていたが、本事業で整備されたことにより、水路等の施設が充実し、農産物の生産向上と労働力が軽減された。
1,916				林道を利用する森林所有者及び森林整備車両等の安全運行と利用促進が図られた。 また、2 名の新規雇用と刈払機講習会受講等により技術の向上が図られた。  新規雇用失業者数 2 名

事業名	事業内容	事業費
海岸防災林造成事業 県工事負担金 (農林課) 【事項別明細書 216 頁】	県が実施する老朽化した海岸保全施設の改修のための測量・設計及び対策工事にかかる県工事負担金  根獅子地区（防潮工など） 負担金 19,999,350 円×7%≒1,400 千円 負担割合 国：50%、県：43%、市：7%	1,400
流域育成林整備事業 (農林課) 【事項別明細書 216 頁】	植栽から保育まで一貫した造林事業を集团的、計画的、組織的に実施し、森林の総合的整備を行った。  事業量 下刈 4.84ha（平戸地区3.2ha、田平地区1.64ha） 事業費 693 千円	693
環境林整備事業 (農林課) 【事項別明細書 216 頁】	防風・防潮林等の公益的機能を有する松林を病虫害（松くい虫）から守るため、松くい虫による被害木の伐倒駆除を行った。  事業量（伐倒駆除） 185.13 m <sup>3</sup> 平戸地区 14.72 m <sup>3</sup> 生月地区 36.00 m <sup>3</sup> 大島地区 134.41 m <sup>3</sup>	3,657
自然災害防止事業 (農林課) 【事項別明細書 218 頁】	豪雨により、崩壊した民家裏林地について、県の補助事業を活用し、復旧工事を実施した。  事業量 L=10.0m 地区名 岡地区（志々伎町）	1,793
森林病虫害対策事業 (農林課) 【事項別明細書 218 頁】	防風・防潮林等の公益的機能を有する松林を病虫害（松くい虫）から守るため、防除を実施した。  ・地上散布 7.60ha（平戸地区3.00ha、大島地区4.60ha） ・空中散布 82.0ha（大島82.0ha） ・樹幹注入 274本（平戸151本、生月123本）	6,929
森林整備地域活動支援交付金事業 (農林課) 【事項別明細書 218 頁】	施業集約化に不可欠な作業路網の改良箇所の洗い出しのための点検及び崩壊箇所・崩壊の原因となっている箇所について、丈夫で簡易な作業路網へ転換を図る改良活動に対して支援を行った。  事業内容 作業路網の改良活動 1,190ha 事業主体 県林業公社910ha、平戸市森林組合250ha 北松森林組合30ha	5,260

財 源 内 訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1,300		100	当該海岸保全施設は、経年劣化や波力等の影響により損傷や機能低下が著しい状況である。事業完成後は、消波機能が十分に発揮され、保全対象区域の民家、農地及び防災林などへの被害防止が図られる。 〔事業予定期間 平成24～26年度〕
459			234	植栽から保育事業まで一貫した造林事業が実施され、優良材の生産及び健全な森林が育成できた。 また、森林の持つ公益的及び多面的機能が発揮され、水源かん養機能やCO <sub>2</sub> （二酸化炭素）削減に寄与できた。
1,835			1,822	防風、防潮林等の公益的機能を有する松林を病虫害（松くい虫）から守ることができ、当該地域住民の生活、環境、景観保全を図ることができた。
896		449	448	林地の現況復旧と再崩壊を防止し、市民生活の安全を確保することができた。
5,135			1,794	防風、防潮林等の公益的機能を有する松林を病虫害（松くい虫）から守ることができ、当該地域住民の生活、環境、景観保全を図ることができた。
4,070			1,190	森林整備が計画的に進み、森林が持つ公益的機能が発揮され、森林所有者の林業経営意欲等の向上に寄与した。

事業名	事業内容	事業費
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業 (農林課) 【事項別明細書 218 頁】	平戸市森林組合が整備する菌床しいたけの生産施設に対し、補助を行った。 事業量 菌床しいたけ生産施設 6棟 A=1,490.4 m <sup>2</sup> 事業費 171,450 千円 (補助対象事業費) 負担割合 国：50%、市：16%、受益者 34%	113,157
特用林産物活用施設整備事業 (農林課) 【事項別明細書 220 頁】	【平成 23 年度繰越明許費】 平戸市森林組合が整備する菌床しいたけの集出荷貯蔵施設及び生産施設に対し、補助を行った。 事業量 菌床しいたけ集出荷貯蔵施設 1棟 A=250.0 m <sup>2</sup> 菌床しいたけ生産施設 1棟 A=248.4 m <sup>2</sup> 事業費 81,413 千円 (補助対象事業費) 負担割合 県：50%、市：16%、受益者 34%	13,027
F R P 漁船廃船処理対策事業 (水産課) 【事項別明細書 222 頁】	今後予想される FRP 漁船等の大量排出に対処するため、本市の現状や課題等に応じた廃船処理手法の比較検証を行った平戸市水産振興協議会に対し、費用の一部を運営補助金として助成した。  事業実施主体：平戸市水産振興協議会 比較検証隻数：6 隻 運営補助金：6 隻×50,000 円=300 千円	300
離島漁業再生支援交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 222 頁】	漁業生産や販売の面で本土地区に比べ不利な条件が強られる離島地区の中で、漁業者自ら策定した活動計画 (集落協定) に基づき、沿岸漁業の振興に取り組む漁業集落に対して一定額の交付金を交付した。  対象地区 度島 46 世帯 6,256 千円 高島 4 世帯 544 千円 的山 28 世帯 3,808 千円 大根坂 21 世帯 2,856 千円 推進事務費 300 千円 単独事務費 2 千円	13,766
水産環境保全創造事業 (水産課) 【事項別明細書 222 頁】	藻場礁整備 設置場所 平戸市野子地先 ・総事業費 89,765 千円 うち年度内支出 31,148 千円 着定基質 自然石 V=9,600 m <sup>3</sup> K-hat リーフ 30 基 ・事務費 530 千円	31,678

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
85,725	27,400		32	菌床しいたけの生産体制が充実・強化され、生産量の拡大による市場等への安定供給が可能となり、特用林産物の振興と雇用の確保が図られる。
	13,000		27	菌床しいたけの生産体制が充実・強化され、生産量の拡大による市場等への安定供給が可能となり、特用林産物の振興と雇用の確保が図られる。
			300	平戸市水産振興協議会では、F R P 漁船の廃船処理をリサイクルと産廃処理での比較検証を行い、環境 (衛生)・費用・法令順守面等でそれぞれ課題を分析した。 比較検証の結果、環境面では、本市内での処理業者 (油脂類処分業者) の不在、費用面では、ほぼ同額であること、法令面では、相談窓口や法令順守の周知不足などが指摘された。また、費用を安価に抑えるには、自走能力を備えている段階で、1 か所に集積できるような場所を確保するなど新たな対策を講じる必要性なども指摘された。
10,352			3,414	各漁業集落の地域特性を活かした「漁場生産力の向上に関する取り組み」及び「集落の創意工夫を活かした新たな取り組み」を展開し、産卵場の整備、磯焼け対策、食害生物を利用した加工品の開発、直売所の運営等を行うことができた。
25,956	5,400		322	磯焼けの進行に伴う藻場の減少に対応するため、核藻場を造成したことにより、今後の漁場生産力の回復が期待できる。

事業名	事業内容	事業費
漁村再生交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 228 頁】	【平成 23 年度繰越明許費】 魚礁整備 設置場所 生月地先 ・総事業費 32,278 千円 ハニカム魚礁 10 基 FP 魚礁 3.25 型 38 基 ・事務費 81 千円	32,359
環境・生態系保全活動支援交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 222 頁】	漁業者が取り組むモデル的な磯焼け対策（計画モニタリング・保全活動）に対して交付金を支給した。  度島磯焼け対策チーム 1,976,852 円×1/4≒494 千円 志々伎地区磯焼け対策活動組織 2,589,000 円×1/4≒647 千円 負担区分 国 (1/2) 県 (1/4) 市 (1/4) 市支出内訳 負担金 4,565,852 円×1/4≒1,141 千円 補助事務費 300 千円 単独事務費 5 千円	1,446
豊かな海づくり事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	市内の漁業者、漁協及び団体が取り組む水産業振興策を支援するため、市単独の補助金を交付した。  ①充填機の導入〔高付加価値型漁業の振興対策〕 256 千円 中野漁協川内青年部 ②底質改良剤散布〔環境保全対策支援事業〕 220 千円 中野漁業協同組合 ③エビ・カキ祭り〔高付加価値型漁業の振興対策〕 497 千円 平戸市水産振興協議会 ④磯焼け対策〔資源管理型漁業推進事業：食害生物駆除〕 210 千円 中野漁業協同組合 ⑤磯焼け対策〔資源管理型漁業推進事業：フルボ酸鉄〕 500 千円 生月漁業協同組合	1,683
密漁取締連携推進事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	密漁対策のため、平戸市管内の漁協で組織された北松海域漁場監視連絡協議会が実施する漁業者による密漁監視のための自警活動に対し、監視活動に使用する船舶の運航経費の一部を補助した。  総事業費 3,390 千円 密漁監視活動実績 226 回 県費 1,130 千円 (1/3；直接補助) 市費 565 千円 (1/6) 負担金 1,695 千円 (1/2；協議会自己負担金)	565

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
26,898	5,100		361	漁港から比較的近い海域（共同漁業権内）に人工的に漁場を造成し、天然礁や既存の人工魚礁と併せて、回遊魚の滞留時間の延長を図ることにより、漁獲の増大と漁業経費の軽減を促した。
300			1,146	対象地区において漁業者をメンバーの中心とする活動組織を設立し、地先の磯焼け対策について協議しながら、定期的なモニタリングと併せてウニ駆除やウニハードルの設置、母藻の設置など藻場の保全活動を行い、食害生物による食害の低減、種子（遊走子）供給力の強化につながった。
			1,683	①練り製品加工用関係機器の導入を行うことにより、ストローと保存料を使わない新商品づくりに取り組むことができた。 ②養殖漁場の環境改善を図り、底質改良剤の散布を実施したことにより、持続可能な養殖事業に寄与した。 ③冬のイベントとして定着している「エビ・カキ祭り」の宣伝告知を効果的にを行い、平戸の旬の食材を積極的にPRすることができた。 ④海藻に対する食害生物であるガンガゼ・小型巻貝を駆除することで漁場環境と資源保護に関する意識付けができた。 ⑤磯焼けが進行している地先に、フルボ酸鉄ユニットを設置したことにより、その有効性について継続した検証（経年変化）を行うことができるようになった。
			565	自警活動に取り組む平戸市内の全漁協により組織された北松海域漁場監視連絡協議会に対し、域内に発生する密漁の効率的な排除と密漁情報の共有システムを確立し、漁場監視体制の整備強化を図ることができた。

事業名	事業内容	事業費																								
農林漁業振興資金 利子補給事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	<p>漁業者の資本装備の高度化を図り、漁業経営の近代化等に資するため、制度資金（漁業近代化資金等）を融資した金融機関（漁協）に対し、利子補給金を交付した。</p> <p>農林漁業振興資金利子補給（利子補給率 1.5%以内）</p> <table border="0"> <tr> <td>期首融資残高</td> <td>147 件</td> <td>461,426 千円</td> </tr> <tr> <td>平成 24 年度新規貸付実行状況</td> <td>10 件</td> <td>70,500 千円</td> </tr> <tr> <td>利子補給額</td> <td>平戸市漁協</td> <td>1,200 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中野漁協</td> <td>84 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>志々伎漁協</td> <td>2,498 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>九十九島漁協</td> <td>26 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>生月漁協</td> <td>215 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>大島村漁協</td> <td>100 千円</td> </tr> </table>	期首融資残高	147 件	461,426 千円	平成 24 年度新規貸付実行状況	10 件	70,500 千円	利子補給額	平戸市漁協	1,200 千円		中野漁協	84 千円		志々伎漁協	2,498 千円		九十九島漁協	26 千円		生月漁協	215 千円		大島村漁協	100 千円	4,123
期首融資残高	147 件	461,426 千円																								
平成 24 年度新規貸付実行状況	10 件	70,500 千円																								
利子補給額	平戸市漁協	1,200 千円																								
	中野漁協	84 千円																								
	志々伎漁協	2,498 千円																								
	九十九島漁協	26 千円																								
	生月漁協	215 千円																								
	大島村漁協	100 千円																								
養殖魚赤潮被害緊急対策事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	<p>薄香湾で発生した赤潮による養殖魚の大量斃死被害に対し、漁協が中間魚を一括購入し被害地区の養殖業者に供給する事業に補助を行った。</p> <p>事業主体：平戸市漁業協同組合 補助対象事業費 県：7,425 千円×1/3≒2,500 千円 市：7,425 千円×1/3≒2,500 千円</p>	5,000																								
新生水産県ながさき総合支援事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	<p>①浜の生産・流通・経営基盤整備対策 定置漁業体験交流施設整備事業（木造平屋建） 事業主体：生月漁業協同組合 事業費：23,520 千円（うち補助対象事業費：20,000 千円） 県費：10,000 千円（補助率：1/2） 市費：3,334 千円（補助率：1/6） 自己負担：10,186 千円</p> <p>②漁場環境保全対策 薄香湾で発生した赤潮による養殖魚の斃死魚の処分費用に補助を行った。 事業主体：平戸市漁業協同組合 事業費：921 千円（うち補助対象事業費：877 千円） 県費：292 千円（補助率：1/3） 市費：293 千円（補助率：1/3） 自己負担：336 千円</p>	13,919																								

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
			4,123	借り手である漁業者の金利負担を軽減し、生産性の向上と所得の安定に寄与した。
2,500			2,500	出荷段階にあった養殖魚が赤潮の影響により大量に斃死し、経営の存続が危ぶまれる状況となった養殖業者の経営維持を図ることができた。
10,292			3,627	<p>①生月漁協にとって重要な定置網漁業に関する“納屋”の老朽化が著しく、漁具の保管にも支障をきたす状態だったが、この事業を行ったことで、資材保管・作業・休憩のみならず、漁業（定置網）体験のための施設としての利用が可能となった。</p> <p>②早急に斃死魚を処分したことにより、養殖業者の経営再建、漁場及び周辺漁場環境の保全に資することができた。</p>

事業名	事業内容	事業費
離島輸送コスト支援事業 (水産課) 【事項別明細書 224 頁】	本市離島地域の農水産業の競争力を低下させる要因となっている海上輸送コストに係る経済的負担の軽減を図ることを目的に海上輸送費の一部を助成した。 事業期間：平成25年3月13日～平成25年3月31日 大島村漁業協同組合 輸送費61,979円×(国1/3+県1/6+市1/6)≒40千円 平戸市漁業協同組合(度島事業所) 輸送費27,270円×(国1/3+県1/6+市1/6)≒18千円	58
漁業担い手確保推進事業 (水産課) 【事項別明細書 226 頁】	漁業担い手確保推進事業補助金 技術習得支援事業 (志々伎・大島) 100,000円×2人×12月=2,400千円 (生月) 150,000円×1人×12月=1,800千円 保険料等 50,000円×3人=150千円	4,350

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	5,000		408	①減少傾向にある水産資源を維持安定(持続的利用)させるためには、種苗放流と同時に、“漁獲規制”を導入する資源管理型漁業が不可欠となる。資源管理型漁業への取り組みを推進するため操業規制の導入及び県水産試験場等の推奨する最適放流手法の管内への普及を図った。 ②アワビ種苗の放流については魚価の低迷や沿岸域の磯焼けの深刻化により水揚げが減少していく中で、地元漁協でも十分な資金が確保できず放流数量を調整するなどして対応している現状である。市では地元の協力を得ながらアワビの放流用種苗よりも安価な中間育成種苗の育成試験を実施し、高生残率を維持しながら放流適性サイズまで成長させるためのデータを収集することができた。 ③管内のマガキについて、ノロウイルス及び麻痺性貝毒のモニタリング検査を実施したことで、風評被害及び食中毒の防止ができた。
44			14	離島という地理的条件の不利を軽減し、地場産業の活性化と離島の自立的発展を促す切っ掛けづくりを支援することができた。
2,175			2,175	漁家子弟の後継者に、技術習得期間中の生活費の支援を行い、後継者の確保につなげることができた。

事業名	事業内容	事業費
漁港海岸施設老朽化調査及びシステム化事業 (水産課) 【事項別明細書 228 頁】	<p>&lt;緊急雇用創出事業臨時特例基金事業&gt; 東日本大震災の教訓を活かし、漁港海岸施設の適切な維持管理を図ることを目的として、海岸施設の老朽化調査を行うとともに調査結果について電子データ化を行った。</p> <p>市営 22 漁港の漁港海岸施設の老朽化調査委託業務</p>	6,825
漁村再生交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 230 頁】	<p>志々伎地区における水揚げの拠点である志々伎浦漁港において、陸揚時の衛生環境の向上を図るため、物揚場へ防暑施設(屋根)の整備を行った。また、白石漁港においては、季節風による風浪により、出入港時及び漁船係留時に危険な状況であるため、漁業者及び漁業体験者等の安全確保の観点から、北防波堤及び南防波堤の新設整備に向けて、調査及び設計を実施した。</p> <p>・志々伎地区 総事業費 68,120 千円 防暑施設(屋根)整備 L=33.2m 福良東防波堤改良(防風フェンス) L=80m 測量設計 一式 うち年度内支出 17,704 千円</p> <p>・白石漁港 総事業費 16,730 千円 北防波堤(新設) L=70m・南防波堤(新設) L=40m 地質調査・測量設計 一式</p> <p>・事務費 851 千円</p>	35,285

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
17,970			2,746	<p>・ハード事業 塩害による老朽化が目立っていた荷捌施設を改修することにより、利用者が安全に作業できる環境が整った。</p> <p>・ソフト事業 ヒラメに次ぐ重要な地域資源であるウチワエビについて、福岡地区を中心とする販促活動を行ったことにより、今後の販売戦略に関する資料を得ることができた。</p>
6,825				<p>漁港海岸施設の老朽化調査を行ったことにより、施設の状況が把握でき、国の事業を活用して、年次計画で施設の補修を行なう環境が整った。また、システム化を行うことで漁港海岸施設の管理が比較的容易となり、施設の適切な維持管理が可能となった。また、緊急雇用により雇用の創出にもつながった。</p> <p>新規雇用失業者数 7名</p>
23,243	10,900	558	584	<p>志々伎浦漁港においては、水揚げ時における衛生環境が改善され、漁獲物の鮮度保持が可能となるなど付加価値の向上が期待される。また、白石漁港においては、必要とする施設の適正な整備にかかる資料(基本設計)が整った。</p>

事業名	事業内容	事業費
地域水産物供給基盤整備事業 (水産課) 【事項別明細書 230 頁】	獅子地区における水揚げの拠点港である獅子漁港において、荒天時の波浪による越波により、漁船の係留及び漁獲物の水揚げ時に支障をきたしているため、西防波堤の改良を行った。 また、早福漁港地区において、新たな地域の集会施設までの取り付け道路の整備を行うため、地質調査及び測量設計を行った。  ・獅子漁港 総事業費 128,470千円 西防波堤(改良)L=10m うち年度内支出 48,191千円 ・早福漁港 総事業費 8,000千円 道路L=161m 調査測量設計一式 うち年度内支出 7,322千円 ・事務費 2,405千円	57,918
【事項別明細書 234 頁】	【平成23年度繰越明許費】 ・獅子漁港：西防波堤(改良)L=15m 51,652千円 ・事務費 60千円	51,712
漁港関連道路整備事業 (水産課) 【事項別明細書 230 頁】	獅子漁港から主要地方道までの道路が狭隘であり、大型車両(保冷車・活魚車)等の通行の際に危険な状況となっているため道路の整備を行うもの。平成24年度は工事実施に向けて測量設計を行った。  ・獅子漁港 総事業費 20,000千円 関連道路整備 L=600m 測量設計一式 うち年度内支出 3,200千円 ・事務費 197千円	3,397
水産物供給基盤機能保全事業 (水産課) 【事項別明細書 230 頁】	漁港施設の老朽化対策として、機能保全工事を行うための前提となる調査を実施するとともに、施設整備後、数十年が経過し老朽化が進んでいる施設について対策工事を実施した。  ・機能保全調査及び対策工事 総事業費 96,000千円 うち年度内支出 25,027千円 機能保全調査：獅子、釜田、一六、生向、須草、泊ヶ浜、主師白石、春日、高越、飯良、西浜 機能保全工事：古田漁港(古田橋橋脚1基・古田防波堤L=96m) 宝亀漁港(京崎防波堤L=22m・測量設計一式) ・事務費 426千円	25,453
【事項別明細書 234 頁】	【平成23年度繰越明許費】 ・機能保全工事：飯盛漁港 (西防波堤補修L=30m・浮棧橋補修1基 取付護岸補修L=4.75m) 23,968千円 ・事務費 149千円	24,117

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
37,471	18,700	783	964	獅子漁港においては、西防波堤の改良を行ったことにより、港内の静穏度が向上し、係留時及び水揚げ時における漁業者の安全が確保されるとともに、出荷調整のための蓄養水面の有効活用が可能となった。また、早福漁港においては、地質調査及び測量設計を実施したことで、道路整備を行うための資料(基本設計)が整った。
34,828	15,200	838	846	
2,160	1,200		37	獅子漁港で水揚げされる水産物の流通環境の改善や地域住民が安心して生活できる環境を整えるための道路整備に向けた資料(基本設計)が整った。
12,505	10,500		2,448	機能保全調査を行った結果、国の事業を活用して老朽化している施設の保全工事を実施できる環境が整った。また、老朽化している既存施設の保全工事を行ったことにより、施設の長寿命化が図られ、更新コストの縮減及び漁業者が継続して就業できる環境を構築できた。
16,896	6,900		321	



事業名	事業内容	事業費
漁業集落環境整備事業 (水産課) 【事項別明細書 232 頁】	早福漁港地域において、漁業集落における生活環境の改善を行うことにより、快適な漁港環境を形成し、併せて漁業者が安心して就業できる環境を構築することを目的に集落道路の整備を行った。  ・早福漁港：集落道 L=145.1m 総事業費 50,000千円 うち年度内支出 7,516千円 建物事前調査 19棟 建物調査 2棟 物件調査 6件 土地購入278.59㎡ 建物補償 5棟 立木・電柱移転補償費一式 ・事務費 139千円	7,655
【事項別明細書 234 頁】	【平成 23 年度繰越明許費】 ・早福漁港：集落道 L=69.0m 33,810千円 土地購入 554.38㎡ 移転補償 工作物補償 2件 建物補償 4棟 ・事務費 172千円	33,982
漁港単独整備事業 (水産課) 【事項別明細書 232 頁】	補助事業及び災害復旧事業での採択要件に該当しないものの、整備が必要な箇所の工事及びそれに伴う調査測量作業を実施した。 総事業費 13,438千円 うち年度内支出 9,092千円  事業内容 ・宝亀漁港機能保全計画書作成業務委託 ・根獅子漁港深浅測量業務委託 ・船越漁港(向月地区) 沖防波堤標識灯取替工事 ・大根坂漁港背後法面崩壊対策工事 ・獅子漁港臨港道路維持工事 ・生向漁港外 2 漁港単独災害復旧工事 ・船越漁港飯田海岸施設単独災害復旧事業 ・主師漁港主師防波堤根固工事 ・田助漁港幸の浦地区埋立地用地測量業務委託 ・事務費 13千円	9,105

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
4,885	2,600		170	道路拡幅工事を行ったことで、緊急時における車両の進入が可能となり、安心して生活できる環境が整った。また、汲み取り車両が集落内に進入できるようになったことで劣悪な衛生環境も改善された。
21,977	11,400		605	
		5	9,100	被害の拡防止大及び事故の防止につながっており、安全な漁港環境が整った。

事業名	事業内容	事業費
漁港整備事業県工事負担金 (水産課) 【事項別明細書 232 頁】	<p>基幹的な漁港である県営漁港の施設を充実させるため、漁港整備計画に基づき県が実施している建設事業費の一部を負担した。</p> <p>漁港整備事業県工事負担金 18,516 千円</p> <p>《水産生産基盤整備事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生月漁港           <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事業費 124,999 千円&gt; 市負担額 15,625 千円</li> <li>【うち年度内 事業費 14,244 千円 市負担額 1,781 千円】</li> <li>- 2m 物揚場 (改良) L=80m 内防波堤 (A) L=30m</li> </ul> </li> <li>・薄香湾漁港           <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事業費 9,999 千円&gt; 市負担額 1,250 千円</li> <li>【うち年度内 事業費 6,021 千円 市負担額 753 千円】</li> <li>潮の浦護岸 (改良) 一式 潮の浦東防波堤 (改良) 一式</li> </ul> </li> <li>・宮ノ浦漁港           <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事業費 169,999 千円&gt; 市負担額 21,250 千円</li> <li>【うち年度内 事業費 73,013 千円 市負担額 9,127 千円】</li> <li>浮棧橋 (A) 1 基 用地 (B) A=6,100 m<sup>2</sup></li> </ul> </li> </ul> <p>《地域自主戦略》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前津吉漁港           <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事業費 34,269 千円&gt; 市負担額 4,283 千円</li> <li>【うち年度内 事業費 17,468 千円 市負担額 2,183 千円】</li> <li>護岸 (改良) 一式 内防波堤 (改良) 一式 道路一式</li> <li>- 3m 岸壁 (改良) L=70m - 2m 物揚場 (改良) L=142m</li> </ul> </li> <li>・館浦漁港           <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事業費 26,231 千円&gt; 市負担額 3,279 千円</li> <li>【うち年度内 事業費 19,388 千円 市負担額 2,423 千円】</li> <li>浮棧橋一式</li> </ul> </li> </ul> <p>《農山漁村地域整備交付金》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館浦漁港           <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事業費 24,000 千円&gt; 市負担額 3,000 千円</li> <li>【うち年度内 事業費 0 千円 市負担額 0 千円】</li> <li>浮棧橋一式</li> </ul> </li> </ul> <p>《水産業強化対策施設整備交付金》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・度島漁港           <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事業費 8,000 千円&gt; 市負担額 1,000 千円</li> <li>【うち年度内 事業費 3,000 千円 市負担額 375 千円】</li> <li>船揚場 (滑り材) L=15m</li> </ul> </li> </ul> <p>《県単修築事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田助漁港           <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事業費 7,447 千円&gt; 市負担額 1,712 千円</li> <li>用地舗装一式</li> </ul> </li> <li>・薄香湾漁港           <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;事業費 700 千円&gt; 市負担額 162 千円</li> <li>用地舗装一式</li> </ul> </li> </ul>	18,516
【事項別明細書 234 頁】	<p>【平成 23 年度繰越明許費】</p> <p>《水産生産基盤整備事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・宮ノ浦漁港 事業費 26,359 千円 市負担額 3,295 千円</li> <li>浮棧橋 1 基</li> </ul> <p>《水産業強化対策施設整備事業》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前津吉漁港 事業費 44,177 千円 市負担額 5,522 千円</li> <li>北防波堤 (改良) L=50m - 2m 物揚場 (改良) 一式</li> </ul>	8,817

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
	14,700	923	2,893	<p>県営漁港の整備ができたことで、漁港用地の有効活用が可能となり、漁船が安全に係留できるなど漁港機能が向上した。また、単独事業を実施したことにより施設の機能が充実し、漁業就労環境の改善につながった。</p>
	2,900	441	5,476	

事業名	事業内容	事業費
漁港施設機能強化事業 (水産課) 【事項別明細書 232 頁】	防波堤からの越波により、漁港施設及び漁船への被災を繰り返している状況にあるため、当事業を活用し防災対策工事を実施した。 ・下中野漁港 総事業費 70,000千円 北防波堤(改良) L=20.1m うち年度内支出 14,100千円 ・志々伎浦漁港 総事業費 14,000千円 西防波堤(新設) L=60m 調査測量設計一式 うち年度内支出 0千円 ・事務費 261千円	14,361
【事項別明細書 234 頁】	【平成 23 年度繰越明許費】 ・下中野漁港 15,478 千円 北防波堤(改良) L=0 (45.28) m ・事務費 111 千円	15,589
強い水産業づくり 交付金事業 (水産課) 【事項別明細書 232 頁】	【平成 23 年度繰越明許費】 荒天時の強風により係留時の漁船が支障をきたしている状況にあるため、防波堤上に防風フェンスの整備を行った。 ・根獅子漁港 25,795千円 西防波堤改良(防風フェンス) L=117.4m ・事務費 206千円	26,001

財源内訳				事業の成果
国県支出金	地方債	その他	一般財源	
9,517	4,400	229	215	漁港施設への被災や、防波堤からの越波による漁船への被災が回避されるなど、漁港機能が充実し、当漁港を安心して利用できる環境が整えられた。
10,448	4,600	251	290	
17,550		423	8,028	漁船が安心して係留できる環境が整えられるとともに、漁港用地内での作業時における漁業者の安全を確保することができた